



# 大森六中だより

令和2年 9月号  
大田区立大森第六中学校  
校長 松尾 廣文  
TEL 3726-7155

## 2学期始業式 式辞 「星の王子さま」

8月24日



ツクツクボウシの鳴き声が聞こえてくると、夏も終わりになり、季節はゆっくりと秋へと向かって行きます。

今年の夏休みは短く、例年に比べ、いろいろな体験ができなかったという子も多かったと思います。

マスクを付けた学校生活がまた始まります。なかなか思い切りお話ができたり、触れ合えない状況が続いています。遊ぶうにも、家の行き来も難しい状態です。

でも、教室で同じ時間を過ごしているだけで、人と人の気持ちはつながってきます。

サン＝テグジュペリの「星の王子さま」、読んだという子も多いと思います。

その中に地球にやってきて、友を探す星の王子さまに対して、キツネが理解しあうことについて、こんな話をしています。(注・内藤濯訳)

「最初は距離を置いている。ことばというやつが、勘違いのもとだよ。一日一日とたってゆくうちに、だんだんと近いところにきて、座れるようになるんだ。」

そして、キツネはこうも王子に言います。

「心で見なくちゃ、もの事はよく見えない。肝心なことは目には見えないんだよ。」

王子は自分の星に残してきたバラの花のことを思います。

王子は、地球で見たバラの花と、自分の星に残してきたバラの花とは全然違う

ことに気がきます。

キツネは王子に言います。

「あんたが自分の星に残してきたバラの花をととても大切に思っているのは、そのバラのために時間を費やしたからだよ。」

王子は、自分の星に住んでいたとき、水をあげたり、風よけをたてたり、覆いガラスをかけたたりしたバラの花のことを思います。

目には見えなくても、日々の生活の中で過ごした時間や思いやりが大切なことに、星の王子さまは気付くのです。

学校生活は、これからも大きな行事は難しい状態が続きます。

クラスの力を合わせてといった文化祭も本年度は、行えません。

しかし、日常の何気ない思いやりや触れあいを積み重ねていくことで、クラスの中に友情・信頼・協力といった大事な価値が深まっていくと思います。

コロナウイルス禍の中で、行事が縮小されても、ソーシャル・ディスタンスが求められも、心の距離は開かないように、日々の生活を皆で大切にしていって欲しいと思います。

そして、3年生は、進路に向けて、舵を定める時期になります。クラスのスクラムで、困難に打ち勝つような学期にして欲しいと思います。

尚、サン＝テグジュペリの「星の王子さま」は、新訳も含めて、図書室に三冊ありますので、まだ読んだことが無い人は手にとってみてください。

## 2年総合 10年後のより良い未来とは

近年、「新型コロナウイルス」「記録的な大雨洪水、土砂災害」「大地震」など、過去に記録されていないことが起こり、地球的規模の課題が山積みです。SDGs 達成期限まであと10年。これからの未来を創るのは自分たちであるという主体的な考えをもち、できることから行動に移すしかありません。2年生は持続可能な社会の担い手となるために、総合的な学習の時間に「10年後のより良い未来とは」というテーマで、持続可能なまちであるために必要なことをグループで話し合いました。そして、それぞれの考える「社会」「環境」「経済」「文化」が安定して、誰一人取り残されることのない理想のまちについて発表を行いました。



## 道徳授業地区公開講座

9月9日（水）道徳地区公開講座を行いました。1年「心から信頼できる友達」2年「本当に望ましい社会って・・・」3年「二通の手紙」という教材をもとに、それぞれ友情、寛容の心、遵法精神について考えました。ロールプレイやグループ討論を通して様々な意見を出し合う中で自分の考えを深めていくことができました。



1年生



2年生



3年生



毎年11月の第一土曜日は『東京都教育の日』

[http://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/kyoiku\\_no\\_hi\\_2.html](http://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/kyoiku_no_hi_2.html)

東京都教育委員会は、次代を担う子供たちの教育について、都民全体で推進し、都における教育の充実と発展を図るため、毎年11月の第一土曜日を「東京都教育の日」と定め、10月及び11月を「東京都教育の日」推進期間としています。

(令和2年度：11月7日(土))

未来に向けて

## 第1学年職業インタビュー発表会

9月7日（月）に夏休みの課題だった「職業インタビュー」の学年発表会が行われました。発表者は、予めクラスでの発表を経て各クラスから5人ずつ選出された計15人です。スクリーンに映し出された各自の「職業インタビュー新聞」を背に学年全体の前で堂々と発表を行いました。

職業には様々ありますが、インタビューの中で“コミュニケーション”が大事であることや、“人を笑顔にできる”ことに仕事のやりがいを感じる等が多くの発表に出てきました。中学生へのアドバイスとして、自分の可能性を広げるために“いろいろなことに興味を持つこと”“授業を始めとする全ての学校生活を一生懸命やること”などが多く紹介されました。現在、全員の新聞が、各クラスの廊下に展示されています。友達の作品をじっくり読み、学び合っていきましょう。きっと知らなかったこと、気付かなかったことを発見できるはずです。

保護者の皆様、並びにインタビューに答えてくださった皆様、改めましてインタビューへのご協力、ありがとうございました。この紙面を借りて御礼申し上げます



「IT 管理者」について



「通関士」について



「美容師」について

六中の新たな担い手たちよ！

## 生徒会役員選挙 リモート演説会

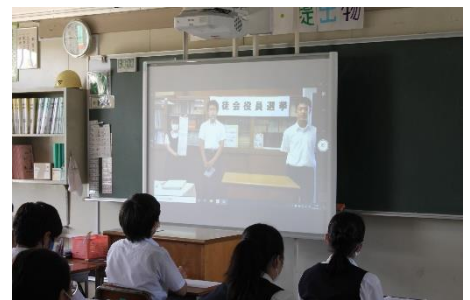
9月11日（金）の6時間目に令和二年度生徒会役員選挙演説会が行われました。新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は登校時の校門で、昼食時に各クラスを回っての選挙運動ができませんでした。それでも10名の立候補者達は夏休み中の演説原稿とポスター作成、演説練習に加え、昼食時のリモートによる選挙運動に励んできました。当日はその成果を見事に発揮し、緊張しながらも堂々と自分の主張を演説しました。立候補者も応援演説者も大変立派でした。各学年、各クラスとも電子黒板を見つめる姿勢もまた真剣でした。選挙管理委員の皆さん、準備を整えてくれてありがとう。おかげでスムーズに進行出来ました。



選挙管理委員長より



立候補者・応援演説者からの演説



クラスでの視聴

# 持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

## 下校庭花壇のブドウの木

下校庭図書館通りに面した花壇が主事さん達の手により、多様な花を植え、地域の人たちの目を楽しませてくれています。農援隊も密に集まることができない中、種を植えて一役かかっているところです。

洗心保育園の改修工事の際、ブドウの木を、下校庭の花壇に移植したところ、今年の夏たくさんの実がなり、農援隊クラスリーダーが代表して、そのブドウの実を収穫しました。

今のご時世みんなで楽しく食べるということができないため、放射線の測定を行ってから、持ち帰りました。

〈農援隊クラスリーダーの感想〉

・保育園からもらった短い苗を植えただけでたくさんの立派なブドウが育ち、自然の力でツルも巻き付いていたので、改めてすごいなと思いました。自然の緑を増やし温暖化を防ぎながら栽培していけばいいなと思います。今後は農援隊として貢献したいです。(1100)

・私は今回の話の中で驚いたことは、ブドウは10cmの枝から育てても立派な実ができ、2m上にまで成長し、その生命力はすごいということです。また、私たちが植えたインゲン豆やヒマワリも大きく育って花が咲いていてうれしかったです。この暑い中、毎日学校内のさまざまな植物に水をあげてくださっている方々がいます。その方々のおかげで六中には豊かな自然があるので、感謝したいと思います。私にもできるような活動があれば参加して協力したいです。(1200)

・学校の小さな畑で彩り豊かな植物が育ち、それが生き物の育つ場となっていることは良いことだし、すごいことだと思います。そのような環境を維持するためには、この畑の植物を育ててくださっている方々のように、暑い日も、寒い日も適



度な水やりを忘れずにすることが大切だということに改めて気づけました。(1300)

・大切に育ててくださった主事さん方に感謝したいです。(2100)

・六中に通っていてもまだ知らないことがたくさんあると思った。(2100)

・今回六中下校庭でブドウを狩らせていただきました。六中で果物が採れるなんて驚きました。これも毎日水やりをしてくださる主事さん達のおかげです。これからも農援隊をよろしくお願いします(2200)

・学校の下校庭でブドウが栽培されていることに驚きました。また、植物も人間と同じように個性があることを知れました。これからは花壇の花の成長を見ていきたいです。

「同じ種類でも育つスピードは違う。それでも皆同じブドウ」という言葉を聞いて、どんなことでも多様性があることを学びました。ブドウもとてもおいしかったです。(2400)

・今回の活動を通して、身近なさまざまなものがたくさんの人によって支えられている。私たち一人一人は植物と同じ多様性があることを学びました。

・今回の活動を通して、ここまで大きくなるにはさまざまな工夫や苦労があると思いました。(3200)

・植物も人間と同じで育ち方や背の高さ、そのほかその植物によって異なる。みんな違って当たり前なのだから、背が低いから、太っているから、などの理由で差別してはならないということに改めて気づかされた。(3300)

・こうして今、ブドウができてるのは暑い中毎日水やりが花壇の整備をしてくださった方々のおかげだと思います。私も隊長として、さまざまな活動に参加していきたいです。(3400)

